（参考資料）

フレッシュ度マップについて

１．目的

　都市域が拡大するに従って、都市の飲み水の取水地点も広域化されてきた。また、それぞれの取水地点においては、その上流にどの程度の人口が住み、社会活動がなされているかは、都市住民はほとんど情報を持っていない。微量化学物質などの新たな水質問題に対応するためにも、飲み水がどの程度の人為的な影響を受けているかを知らせることが重要である。

　フレッシュ度マップは、河川の取水地点において河川水が人間活動の影響をどの程度受けているかを明らかにすることにより、自分たちの飲み水の履歴を明らかにする。このことにより、多くの国民に水量確保の困難性や水処理の重要性を考える契機とする。

２．使用方法

　各河川のフレッシュ度を色分け等の手法により分かりやすく表示し、これに水道水の取水地点や下水道の排水地点等流域に関する様々な情報を加え、「フレッシュ度マップ」を作成する。国土交通省のホームページや各種パンフレット等に掲載することにより国民に対し広く公表し、河川水に対する意識の高まりに応えていくこととしている。